

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の全体会で、理念の唱和をおこない意思統一をはかっている。介護で困った時に、理念に立ち返るように、施設内の掲示に掲示している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設職員が外部に出向くなどの認知症サポーター養成講座などには積極的に参加している。第5類相当になっておりますが、新型コロナウィルス感染症予防の為、地域との連携は図れていない。早い段階で、コロナ禍前のような地域との交流を深めていきたい。	研修に参加をしてはいるのですが、コロナ禍以前に来て頂いていたボランティアの来訪などはまだできていないです。施設職員が外部研修に積極的に参加するのを始めている段階です。積極的に参加していつているならほぼできているでも良いと思いますけどね。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね2ヶ月に1度のペースで、リモート開催をしている。運営推進会議の中で、身体拘束適正化委員会、高齢者虐待防止検討委員会、外部評価などのご意見・ご助言など頂くことで、サービスの向上につながっている。	運営推進会議を始めた時は、委員の方とのやり取りがあって地域の夏祭りの休憩所として利用して頂けるようになりました。また、ご助言により避難訓練の時には消防団員の方に来て頂くようになりました。現在、リモートでの会議を行っておりますがリモート参加が難しい方もいらっしゃるので早めに通常の対面での会議にしていきたいと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に、解らないことがあった時には保険者の窓口に出向き直接話を聞いている。常に挨拶などを欠かさないようにしている。	窓口に行き、面と向かって話せるようにしていくことが良いと思います。市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどに、以前は年始や年度初め等にご挨拶に伺っていたのですがコロナ過になりなかなか頻繁に伺う機会ができていないので、今後はまた挨拶周りを再開したいと思います。		

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施錠を含めて身体拘束をしないケアに取 り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設一丸となって、自分がされて嫌 な事はしないと職員全員で意思統一 している。身体拘束をしないケアに取 り組んでいる。定期的な研修会を行 っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分がされて嫌なことはしないというの が前提です。身体拘束を行うグループホ ームはあまりないと思います。グレーゾ ーンと言われるような「不適切ケア」を職 員で話し合いながらなくしていけるよう に努めたいと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎県認知症高齢者グループホーム 協議会が毎年開催する「身体拘 束」「高齢者虐待」についての研修会 を職員が参加し、内部研修で講師に なり、教えることで学びを深めてい る。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎県認知症高齢者グループホーム連 絡協議会が開催しているブロック研修に おいて、原先生が講師をされている研修 に参加し、研修に参加した職員が会社 に持ち帰って学んだことを今度は講師と して教える役を担うことで、高齢者虐待 防止についての理解が深められるのか なと思っています。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度をご利用されている方 がいらっしゃるので、日々施設として 勉強しながら学びを深めています。 権利擁護についての研修も取り入れ ている。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図って いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設見学の段階から何度もお会い し、できる限り顔見知りの関係になっ た段階で契約をしている。担当者の 連絡先をお伝えいつでも説明がで きるようにしている。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が施設に来所された時、電話 連絡があった際には、その時の職員 が日頃の様子を踏まえて説明してい る。事務長、管理者、計画作成担当 者がそれぞれが、ご家族と連絡がと れるようにしている。できる限りご家 族と密な連携が図れるようにしてい る。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のケアについて本人の「看護・介護 経過記録」に記録し、何かあった時には ご家族にもご連絡し風通しの良い施設 を心がけています。ご家族のご質問に 対しては、日頃のケアに関しては管理 者、ケアプランに関しては計画作成担当 者、金額のことについては事務長など内 容によって詳しい担当者が対応し、ご家 族にも安心して利用して頂けるよう努め ています。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必ず運営者及び管理者が、すべての 会議に参加している。可能な限り、 運営に反映できるようにしている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和6年度から介護職員等処遇改善加算などを算定し、介護職として頑張っている職員が評価できるようにしている。資格要件や職位によってやりがいが見いだせるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	7月21日から正職員の給与を引き上げております。介護福祉士で14,000円上がっております。最低賃金が10月に上がるのですが、早めに給与を上げさせて頂いています。また、3月、5月、12月にも『処遇改善一時金』として職員、パート職員の方に一時金を支給しております。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修などで、職員が興味を持ったことを題材として講師となり職員同士で理解を深めている。介護に関わる資格取得希望者には、資格取得の為に勉強会や参考書のアプリの提供を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初任者研修の講師をしている職員が分からない所や資格取得をしたい意欲のある職員に教えたりしています。ヘルパー2級から入職して、勤めながら勉学に励まれて介護福祉士や介護支援専門員の資格を取得された方もいらっしゃいます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営者が、積極的に同業者の方とのネットワーク作りに努めている。今後、同業者の方に施設内研修の講師をお願いし開催予定である。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	積極的に他利用者の食後の食器を片付けや洗濯物たたみなどを手伝って頂いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為にリモート面会を実施している。感染状況をみながら窓越し面会を再開していきたい。病院通院のみの外出の為に、なかなか交流を持つ機会を作ることが出来ていない。	窓越し面会を再開しようとしていた矢先に新型コロナウイルス感染症が施設内で流行してしまい、まだできていない状況があります。Skypeを利用したりリモート面会を行っています、ご家族と直接会ったりすることが大切だと思いますので、できるだけ早い段階で窓越し面会が再開できるよう努めたいと思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	保険者が推奨しているセンター方式の24時間シートを施設独自にアレンジし活用し、本人の気分や気持ち拾い上げれる様に努めている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に毎月担当職員を中心にケア担当者会議を行い介護計画に対するの評価及び今現在出来る事や生活上の困りごとなどの話し合いを重ね合っている。その内容を踏まえた上でモニタリングを行い、介護計画の作成に役立てている。	事業所が資格取得ができるようにいろいろと支援していると以前聞いたのですが、職員の方がケアマネジャーの資格を取られたという事でとても良いことだと思います。これからも頑張ってください。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の方の課題を抽出するために、当施設で使用している毎日の記録用紙では宮崎市が推奨しているセンター方式の研修内で使われていた 24 時間シートを参考にさせて頂いております。また、職員が介護支援専門員の資格取得をしたので、今まで以上に多角的な視点から介護計画を立てられるのではないかと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24 時間の状況が分かるように施設独自で記録を作成している。その時の状態をいつでも職員が確認できるように申し送りをラインワークスと書面を見ながら口頭で行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設では、宮崎市が推奨しているセンター方式で使用するシートを活用した記録用紙を使用しています。書面だけでは分かりづらいこともあるので、口頭でも申し送りを行い、職員全員が利用者様の現状を把握できるように努めています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者とのコミュニケーションの中で、何気なく言われた言葉などをそのままにせず、多職種や関係機関と協働し、その時々生まれるニーズに柔軟に対応できるよう努めている。主治医による訪問診療、訪問看護ステーションによる 24 時間のオンコール体制、薬剤師等による居宅療養管理指導、歯科医による歯科往診等多職種と協力し、利用者を多種多様な専門職の力を使い支援している。	とても良く観察されていて、本人の言葉なども気にされているという事で、良くされていると思います。今のままの支援で大丈夫じゃないかと思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防の為、現在も外部との接触をできるだけ自粛している。介護実習生など実習中は、抗原検査をして受け入れをしている。通年であれば、ボランティアの受け入れをしているが、現在限定的な対応となっている。	コロナ過になる前は大きなイベント以外にも日常的に傾聴ボランティアなどに来て頂いたりしていたのですが、現在そういったことはできていないです。実習生受け入れは継続的にやっているのですが、感染症予防のため抗原検査を毎日して頂きながらの受け入れになっています。感染リスクの対応で苦慮されているかと思っています。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用前の主治医やご家族のご希望で、訪問診療を受けられている方もいらっしゃいます。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院から退院まで、安心して治療ができるように日頃から、医療連携室などの機関に挨拶を欠かさないようにしている。出来る限り、病院関係者の方との関係づくりが上手できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過になってから、挨拶周りができていない現状がありました。病院なども感染症予防で制限があり難しい状況がありましたので。ようやく最近になって病院にご挨拶周りなどさせて頂いている状況です。入退院時には情報を密に交換し、スムーズな入退院ができるよう努めています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所は、基本的に入所前に終末期ケアは実施しないことを説明し納得していただいた上で入居契約を結んでいる。また、重度化した場合には、施設、家族、医療機関で話し合いその時に必要なサービスが適切に受けられるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期ケアは実施していないので、病気になる入院後にお亡くなりになられる方もいらっしゃいます。それ以外では、本人が常時医療行為が必要な状態になったり、要介護状態が進まれた時に適切なネクストステージをお勧めしております。ご家族のご希望を確認し、医療行為に強い施設や金銭的にご家族が特別養護老人ホーム等をご希望の時は希望に沿うように努めさせて頂いております。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修を行い、事故発生時・急変時の対応ができるようにしている。訪問看護ステーションと連携を図り、緊急時には駆けつけて頂いている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎市の防災協力事業所として登録をしている。通年であれば、職員を集め、地域消防団立会いの下、防災訓練を実施していたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、小規模で実施している。	周りの環境なのですが、隣にお寺があって大きな木などがありますが、台風などの災害時に枝が落ちてきたりご神木が倒れてきたりしたことが過去にありました。距離がありますので特に施設に被害などはありませんでしたのでご安心頂ければと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5年前に『防災協力事業所』として登録させて頂いております。災害時の水は井戸水を確保していますが、災害時にはこちらの水は生活用水としては利用できませんが飲用はできないとのことでした。飲料用の水について準備はしておりますが利用者18名、全職員の分の量的な確保が難しい現状があります。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念に人格を尊重する介護を掲げている事と、プライバシー保護の観点から不適切な声掛けを行わないように研修会や日頃の対応に気を付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身で歩行が難しいけれど認知症により歩けると思い違いをするなどの病識のない利用者の方などに対して介護職員が間違った言葉かけや強い言い方になってしまう場面がある時には、その場で注意できるよう職員間でも注意しあっています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務の時間を優先するのではなく一人一人のペースに合わせて意向や希望に沿えるように対応しております。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食手作りで提供しており、盛り付けや嗜好、苦手な食材や食事形態等をふまえて柔軟に対応している。利用者の方には職員と共に食前のテーブル拭きや食後のお盆拭きなどを手伝ってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様でアレルギーではないけれども肉が苦手で食べられないという方がいらっしゃいます。そのように苦手な食材がある方に対しては魚や卵など別に調理した代替品を提供するなどしています。また、食事形態なども体調や本人の状態に応じて一口大や刻み食、卵粥で提供するなどしております。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の記録に食事量、水分量をなどを記録、定期的に体重測定を行っている。必要に応じて主治医に相談している。定期的に、主治医の指示で血液検査などを行い体調管理に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時や毎食後には本人の量力に応じて声掛け、仕上げ磨き、介助を使い分けて口腔内の清潔保持の支援をしている。義歯は夜間帯に預かり毎日消毒を行っている。また、口腔状態を確認し異常がある場合には主治医やご家族、訪看と協力し受診や往診の対応を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃より、歯磨きの準備をすればご自身で歯磨きをされる方で、職員も大丈夫だろうと思っていても奥歯がきちんと磨けていないことがありました。歯磨き後に職員が磨き残し等がないか確認したり、うがいを徹底したりなどで対応させて頂いております。また、歯や歯茎の異常については早期で往診に来て頂いている歯科医に相談したりなどしています。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存機能を活かす為に記録から個人の排泄リズムを把握し気持ちの良い排泄が出来る様に支援している。また、便秘予防の為に普段から運動やマッサージを行い、毎日ヨーグルトと牛乳も提供しており自然排便が出来る様に努めている。出ない場合には主治医や訪看と連携を取り下剤の調整も行っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の排泄については2時間おきに巡視を行っておりますので、その時に声をかけをしてトイレに行かれるように支援しております。本人自ら起きて来られる方もいらっしゃいます。夜間は見当識障害が出やすいので、その都度本人にとって必要な支援をさせて頂いております。トイレに行かれない方についてはパット確認・交換をさせて頂いております。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り、本人に合わせた支援を心がけている。週に2～3回入浴できるように支援している。体調に合わせて入浴を見合わせたり個室で職員と話をしながらゆっくりと入浴が出来るように支援したりなどしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	フロアなどで、できる限りみんなで一緒に過ごして頂いている。本人のその時の気持ちや体調に応じて居室で休んで頂いたりしているが、夜間も良眠できるようにお昼寝などは30分以内で起きて頂くなど日中は活動的に過ごして頂けるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2名の職員で日付と名前を確認した上で、服薬を行っている。薬情報を職員がいつでも確認出来るようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬を行う前日に、服薬のセッティングを行うのですが、セッティングの段階から2名の職員で日付と名前を確認しながらセッティングを行っております。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の中で掃除・洗濯等の家事活動で一人一人の状況に合わせてお手伝いを楽しみながら行ってもらい支援を行っている。毎回終わる時には必ず職員が労いの言葉かけをしている。 編み物や塗り絵、将棋やスポーツ観戦等、各個々の趣味も楽しんでいたできるようにご家族と協力し支援している。	全体でのレクリエーション以外に、足腰が弱っている方に対して下肢筋力が向上できるように個別に体操を行ったり、外気浴をしたりなどさせて頂いております。それ以外にも張り合い、喜びに繋がるような家事全般のお手伝いや、配膳、下膳などを手伝って頂いております。就寝についても特に何時までと制限ではなく、10時まで好きなテレビを見られている方もいらっしゃいますが、不眠にならないようには気をつけさせて頂いております。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外は外出制限中である。今後、コロナウィルス感染症が収束した際には以前の暮らしが行えるようにしていきたい。	現在、お楽しみでの外出は制限させて頂いております。病院受診のみの外出となっておりますが、家族と一緒に病院受診に行かれておりますので、その行き帰りを楽しんで頂けたらと思っている所です。病院でも制限があるから感染症予防を考えると仕方ないのではと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入所の際に、お小遣いをお預かりしている。コロナ禍以降に外出できていない為、お金の使用はできていない。必要物品は、ご家族が購入してご持参頂いている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次ぎやスカイプ面会を実施している。本人、ご家族ともに満足して頂いている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールやリビングにソファを配置し、共同スペースでも思い思いにくつろげる空間になるように配慮している。また、ホールには季節感に合った飾りつけを行い、居室にもご家族の写真や昔から馴染みのものを置き落着ける空間作りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時期に応じて季節を感じられるような飾りつけなどを行っています。定期的に席替えなどで座る位置を変えて気分転換をしたり、他利用者の方と良好な関係を築けるように職員が会話の間に入ったりなど居心地の良い生活ができるように支援しております。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の行動や言葉を記録に拾い、ご家族にも確認しながら職員間で情報の共有をしている。出来る限り意向を踏まえたケアに努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用契約の段階から、ご家族より生活状況など確認している。日頃の会話の中から本人から聞き取り、ケア担当者会議などで情報の共有を行っている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が、利用者の顔色や表情を素早く察知し日頃の様子と違う時には、医療職に相談している。安心してホーム生活が送れるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、利用者の方に合わせて4つの法人のクリニックが訪問診療に来て頂いている。施設と契約している訪問看護ステーションと連携を図り、助言を頂きながら支援している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の際に、ご家族よりご自宅での生活状況をお聞きしている。入所された後には、共同生活を踏まえた上で、出来る限りご自宅に住まわれた時に近い状態で過ごせるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入所の際には、ご自宅で使用されていたお布団、食器などのなじみの物をご持参して頂けるように話をしています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近ご入所された方の特徴として、お布団などを新しい物をご持参して頂いているケースが多い気がします。出来れば、枕だけ生活臭がする物をご持参して頂けるようにお話させて頂いております。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、感染症対策の為に病院受診以外の外出支援はできていない。今後、安心・安全を確保した上で進めていきたい。	現段階では、意向に沿った外出支援は難しいことは、わかります。新型コロナウイルスの集団免疫を獲得できるというです。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今現在、本人ができることできないことを見極めながら、職員が介入している。必ず、利用者に合わせて職員と一緒に日々の生活を送っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内では、利用者の方々にお手伝いをして頂き、共に支えあう生活が実現できるように支援している。職員は必ず、お手伝いをして頂いた後には、感謝の気持ちを言葉で伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の皆さんが、にこにことした表情をされていると逆に、介護職員も笑顔になれます。出来る限り、生き生きとした生活が送れるように努めています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防の為、面会は窓越し面会とスカイプ面会を実施している。今後、段階に応じて少しずつ以前のような関係性が再構築できるようにしていきたい。	まだ、インフルエンザ・感染性胃腸炎・新型コロナウイルスが流行しているので、なかなか地域との交流の機会は難しいと思います。早い段階で、以前のような交流が出来ることを期待しています。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一丸となって利用者 1 人 1 人から笑顔を頂けるように努めている。何気ない日常が送れるように日々職員同士で話し合いを重ね合っている。	十分にできていると思います。何気ない日常を提供すること自体が中々難しいことだと思います。今後も、今の気持ちで介護を行って頂きたいと思います。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策をしながら、職員一丸となって出来る限りのケアをさせて頂いています。介護のお仕事が、利用者の方が本人のできることをして頂きながら、何気ない日常を提供することが認知症グループホームだと考えております。
----	----	---	---	--	---	---	--